

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間十勝川
100TH
ANNIVERSARY
治水100年
FLOOD CONTROL OF THE TOKACHI RIVER令和4年6月16日
帯広開発建設部

河岸侵食による堤防決壊対策工の検討を行うため、 実河川を用いた実験を実施

～千代田実験水路を使った実験をオンライン配信します～

北海道開発局及び寒地土木研究所では、大規模出水時における被害軽減技術の開発に向け、十勝川千代田実験水路を用いて、堤防侵食に対する対策工の実験を行い、侵食からの効果的な堤防防護方法の検討を行っていきます。

北海道開発局及び寒地土木研究所では、大規模出水時における被害軽減技術の開発に向け、有識者のご意見をいただきながら、堤防決壊に関する特性の把握を行っています。

十勝川千代田実験水路では、実河川を用いた施設で実験と研究を行い、堤防決壊のプロセスなどを把握し、安全で安心できる国土づくりに資する成果を得ることを目的としています。

今年度、十勝川千代田実験水路内で、侵食による堤防決壊対策工の実験を下記のとおり実施し、実験で得られた知見を踏まえ、急流河川の湾曲部における堤防侵食に対する効果的な堤防防護方法の検討を行っていきます。

記

1. 実施日時

令和4年6月23日（木）7：00～17：40

2. 実施場所

十勝川千代田実験水路（中川郡幕別町相川地先）

3. 実験概要（別紙参照）

・湾曲外岸部における侵食による堤防決壊の対策工

（参考）

十勝川千代田実験水路等実験アドバイザー委員会

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/tisui/kds/chiyodashinsuiro/ct111r0000005727.html>

十勝川千代田実験水路等実験検討会

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/tisui/kds/chiyodashinsuiro/ct111r000000577b.html>

4. その他

現地での実験状況については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実験当日、オンラインによる配信を行いますので、そちらをご参照ください。今回は、現地の一般開放は控えさせていただきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

オンライン配信のURL

実験当日、下記の帯広開発建設部HPでお知らせいたします。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/tisui/kds/chiyodashinsuiro/ct111r0000002u19.html>

なお、報道関係者に限り、実験当日、実験水路での現地取材を受け付けます。希望される報道関係者におかれましては、6月21日（火）12：00までに以下のとおりメールにてご連絡ください。また、現地取材にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための基本的対策にご配慮頂きますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

件名：【現地取材希望】R4十勝川千代田実験水路 侵食実験

本文：氏名（ふりがな）、所属、連絡先

送付先：hkd-ky-kawakei@mlit.go.jp

【問合せ先】 北海道開発局 建設部 河川工事課 河川技術対策官 ^{こみぞ}古溝（内線5313）



電話（代表）011-709-2311

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

北海道開発局 帯広開発建設部 特定治水事業対策官 ^{はせがわ}長谷川（内線298）

治水課 流域計画官 ^{いのこ}猪子（内線504）



電話（ダイヤル）0155-24-4105

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

（国開） 寒地土木研究所 上席研究員（特命） ^{まえだ}前田（内線271）



電話（ダイヤル）011-841-1639

寒地土木研究所ホームページ <https://www.ceri.go.jp/index.html>

令和4年度 十勝川千代田実験水路実験の概要

実験日時・実験場所

【実験日時】

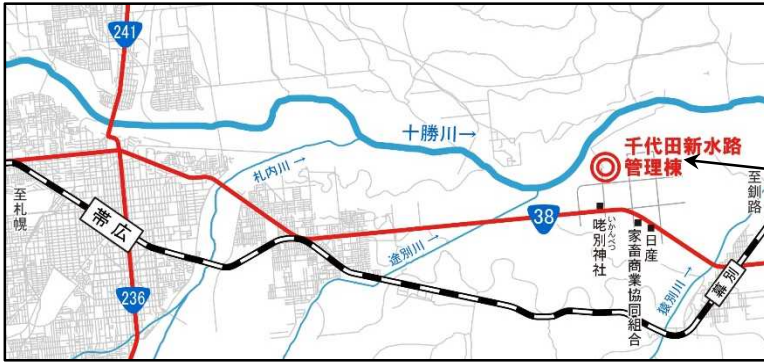
令和4年6月23日(木) 7時00分～17時40分

注1 実験の開始時刻や終了時刻は、進行状況によって前後することがあります。

注2 十勝川の維持流量が確保できない場合や大雨により洪水が発生することが予想される場合には、実験を中止することがあります。

【実験場所】

十勝川千代田実験水路(中川郡幕別町相川地先)



千代田分流堰管理棟
(大きなアンテナが目印です)

●問い合わせ先● 北海道開発局帯広開発建設部 特定治水事業対策官 長谷川 まで
 Tel 0155-24-4105, Fax 0155-27-2377, E-mail: hasegawa-t22ae@mlit.go.jp

千代田新水路における実物大水路実験

北海道開発局及び寒地土木研究所では、大規模出水時における被害軽減技術の開発に向け、千代田実験水路※を用いて、堤防浸食に対する対策工の実験を行い、侵食からの効果的な堤防防護方法の検討を行ってまいります。

※ 延長1,300m、水路幅30m



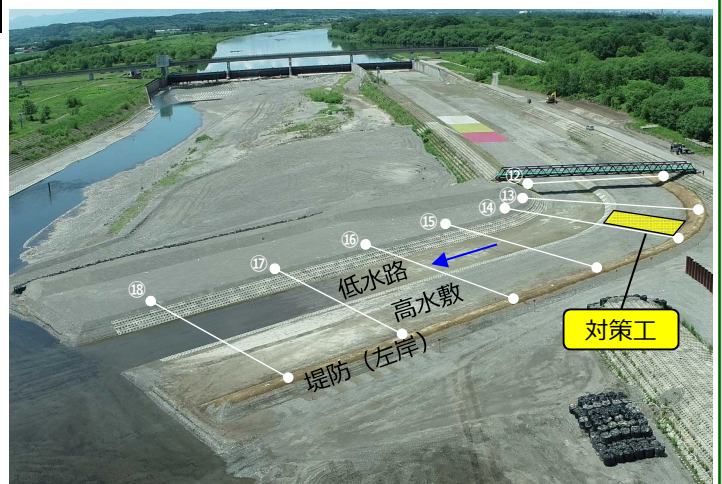
令和4年度千代田実験水路実験の内容

《侵食による堤防破壊の対策実験》

- 急流河川の湾曲外岸部では、護岸等の対策工がない場合洪水時の高流速や複雑な流れにより侵食や洗掘が生じる可能性があり、やがて堤防破壊に至ることもあります。
- 今年度、千代田実験水路で侵食に対する対策工実験を行い、効果的な堤防防護方法の検討を行ってまいります。



平成28年 空知川幾寅地区の堤防決壊状況



令和4年度千代田実験水路(予定)

《主な観測項目》

- ・流速 ・水面下流速 ・水位 ・水面平面形 ・流量
 - ・堤防法面の侵食状況 ・土砂移動状況 ・河床の経時変化
 - ・実験前後の形状変化 ・実験前後の粒径分布
 - ・低水護岸ブロックの挙動 ・対策工の挙動 ・堤防の透水係数
- ※通水流量は40m³/sを予定